

## 令和元年度一橋大学節電計画

### 1. 節電目標

令和元年度の電気使用量は、平成30年度実績の $\boxed{1\%}$ 減を目標とする。

### 2. 目標を達成するための取組

#### (1) 照明設備

- ① 廊下やホール等は、業務上支障が無い限り電灯の間引きを行い、調光により照度を下げる。
- ② スタンド照明が使用できる部屋は、電灯の間引きなどを行う。
- ③ 日中は、業務に支障のない範囲で消灯する。
- ④ 窓際や人のいない部分は、消灯する。
- ⑤ 空室時や休息時は、消灯する。
- ⑥ 蛍光灯等を清掃し、照度の確保に努める。

#### (2) 冷暖房設備

- ① 冷暖房設備を使用する場合においては、夏季は室温 28℃、冬季は室温 20℃を目安とする。
- ② 春季(4月1日～6月30日)、秋季(10月1日～11月30日)は、原則冷暖房設備の使用を停止する。
- ③ 使用していない部屋の空調設備は、停止する。
- ④ フィルターを清掃し、空調設備の効率運転に努める。

#### (3) その他

- ① 使用していない電気機器及び部屋等は、コンセントを抜くかブレーカーをオフにする。
- ② 同一のフロアに同種の電気機器が複数台ある場合は、可能な限り台数を減らして使用する。
- ③ 省電力機能を有する電気機器は、省エネモードに設定する。
- ④ 冷蔵庫は、季節により設定温度を見直す。使用頻度の少ないものは、コンセントを抜く。
- ⑤ トイレの暖房便座、温水洗浄便座は、夏季は停止し、冬季は省エネモードに設定する。
- ⑥ エレベーターは、「3UP, 3DOWN」を心掛けて、出来るだけ使用を控える。
- ⑦ 定時退庁や計画的な休暇取得を促進する。
- ⑧ 日常の定時後や一斉休業期間中は、極力、施設利用を控える。  
(施設の部分使用であっても全体のエネルギー使用量に影響するため。)
- ⑨ クールビズ(5～10月)、ウォームビズ(11月～3月)を励行する。
- ⑩ 教職員及び学生に対し、WEB上(一橋大学ホームページ、HWP等)に光熱利用状況・週間電気予報を掲載し、節電を啓発する。
- ⑪ 大学構内で電力を使用する外部団体等に対しても、本学の取組への協力を要請する。
- ⑫ 夏季、冬季、春季休業期間中、下記建物のエレベーターを停止する。  
(対象建物: 本館、第1講義棟、東1号館、東2号館)
- ⑬ 上記取組の徹底を図るため、年複数回の省エネパトロールを実施する。

#### (4) 近年の設備機器更新による省エネ化の実績と今後の予定

##### 【実績】

- ① LED照明化 : 図書館時計台棟、別館階段教室、図書本館、東1号館便所、小平体育館マーキュリータワー(エントランス、ラウンジ等)、イノベーション研究センター、学術総合センター1階他、東2号館講義室(2・3階)、兼松講堂、如水スポーツプラザ
- ② 高効率空調機器への更新 : 図書館時計台棟、イノベーション研究センター

##### 【予定】

- ① ライフライン(変電設備)改修による省エネ化
- ② 第1講義棟空調設備の高効率機器への更新
- ③ 本館21・31番教室のLED照明化

### 3. 今後の課題

- ① インフラ長寿命化計画を踏まえた、今後の省エネ改修整備計画の策定
- ② 改修費用の確保(光熱費縮減で得られた費用の充当等)